

北里大学医療衛生学部 半期の主なニュースと魅力を満載!!



患者や家族ときちんと向き合い理解しようとする姿勢は世界共通です。



意見が分かれた時こそ、お互いを知るチャンス!



何が患者にとって最善か、議論は尽きません。

国際チーム医療演習 開催!

日米の医療や保険制度の相違を知り、
より良い医療の未来を考える

リハビリテーション学科 作業療法専攻
小児作業療法学

講師 高橋 香代子

平成28年3月3日^{※1}
ファーンソン大学 Thomas Jefferson University : TJU から来日した5名^{※2}(PT、RT各2名、OT1名)と医療衛生学部各学科専攻の学生達と共に、学長助成金の支援を受け、脳血管障害や糖尿病の模擬患者に対する医療ケアを考える「国際チーム医療演習」が実施されました。

本学の学生も最初はただどく話していたものの、いざ患者のことや自分の職種の役割についてとなると、身振り手振りを駆使して熱く語ることに!
患者を通して、互いを知り、認め合い、団結し、高め合うことができる。まさにチーム医療のあるべき姿だと、再認した演習となりました。

※1 医療衛生学部では、平成9年よりトーマスジェファソン大学と学術国際交流を行っており、年に1度両大学の学生がそれぞれの大学を訪問しています。

※2 PT…理学療法士 RT…診療放射線技師 OT…作業療法士

第6回医療衛生学部教員研究交流会 における研究成果発表について

研究委員会委員長 高平 尚伸

テーマは医工連携。医療工学科臨床工学専攻生体工学の馬淵清資教授（現北里大学名誉教授）及びリハビリテーション学科視覚機能療法学専攻視覚検査学の半田知也教授による講演会、ポスター討論・懇談会ともに、盛況の内に終了した。



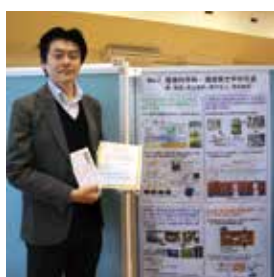
馬淵清資教授による「医工連携から医工融合そして医工学の未来へ」講演会の様子。



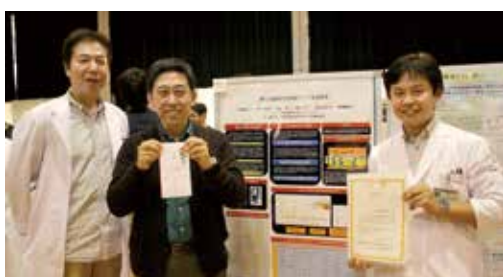
半田知也教授より「出会いから生まれる実学的思考」講演会の様子。

平成28年3月22日（火）第6回医療衛生学部教員研究交流会が開催された。教員研究交流会は研究委員会による隔年開催の行事であり、主な趣旨は共同研究の推進である。なお、新たなアイデアが特許出願に繋がる可能性があるため、講演会場とポスター会場には研究支援センターと志賀国際特許事務所の方が同席され、発表は厳戒態勢のもとで行われた。開会式の後、馬淵教授より「医工連携か

ら医工融合そして医工学の未来へ」、半田教授より「出会いから生まれる実学的思考」という講演をしていた。その後、会場を変えてポスター討論および軽食付きの懇親会が行われ、各々のパネルの前で研究内容、共同研究、共同機器の説明が行われた。閉会式では、学部長賞（臨床検査学）、ベストポスター賞（環境衛生学）の授賞式が行われ、短い時間であったが、教員90名、学生・院生20名、他学部教職員3名、計113名が来場し、充実した時間を各教員と学生で共有することが出来た。



ベストポスター賞（環境衛生学）



学部長賞（臨床検査学）



ポスター会場。各研究室のパネル前で盛んな意見交換が行われた。



若手研究者

医療衛生学部ネットワークイベントの現状

標的型のサイバー攻撃が増加し、世間でも情報漏洩が度々ニュースになります。医療衛生学部ではどの程度イベントが発生しているのでしょうか。



基礎医学部門 医療情報学
助教
有阪 直哉

ンの実行をお願いします。ループは、医療衛生学部全体のネットワークが停止した事例もあり、ケーブルを挿すだけで発生しますので、研究室などでネットワークケーブルの配線変更後は特に注意が必要です。

昨年度、特定の集団、対象を狙う標的型メールの受信からの感染等が3件、ネットワークケーブルの接続ミスで発生するループが6件、そして感染経路のわからないマルウェアによる攻撃等が、研究室等で学生が使用するPCが7件を含む17件、発生しました。標的型メールはノーベル賞に関連したものも含まれていました。標的型メールは非常に巧妙なものも存在しますので、十分に注意する必要があります。また、感染経路のわからないマルウェアは比較的長い期間潜んでいた事例が多く、アンチウイルスソフトがインストールされていない、もしくは動作していないことや、長い間スキャンしていないことが多数でした。今一度、アンチウイルスソフトの動作の確認と、スキャ

広域イーサネット

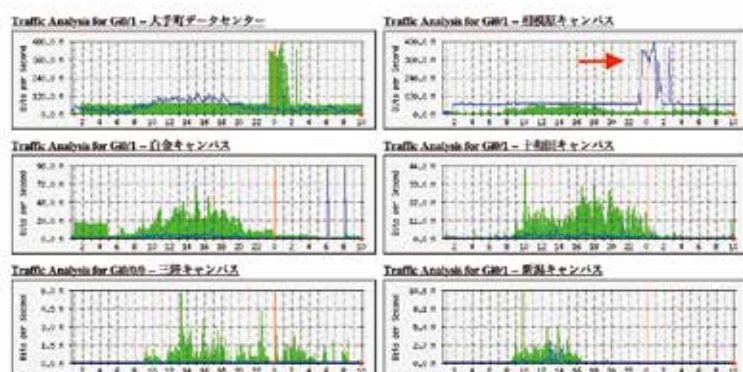


図 ループ発生時の様子 大量のバケットが生じネットワーク全体を圧迫する



海外出張報告

学長助成金による トーマスジェファソン大学訪問

学術交流を行っているアメリカのトーマスジェファソン大学(TJU)を教員7名と事務職員3名で訪問し、国際チーム医療演習等について話し合いました。



医療衛生学部事務室
一般職
土田 智華子

教務課という立場上、出張に行くこと自体が非常にまれである私が、昨年12月、未踏の地アメリカへの出張という想像のはるか上を行く機会を頂きました。今でもこの経験は夢だったので



もちろん観光も忘れずに。クリスマスシーズンの買い物を楽しんだり、アメリカ独立の象徴である自由の鐘(Liberty Bell)を見に行きました。



1日目の夕食風景です。ホテル近くのイタリアンレストランにて。

切に願っています。

飛び交う空間で私は只々恐縮しつつ感動するばかりでした。医療の知識はもちろんのこと、語学力、度胸、そして国境を超えた友情等、学生がこの交流を通して得られるものは言葉では言い尽くせないと思います。このTJUとの絆が、今後も末永く続いていくことを切に願っています。

絶えず英語が



ミーティングは終始和やかな雰囲気で行われ、アメリカサイズのサンドイッチランچも楽しみました。

新任教授・新任教員紹介

健康科学科 公衆衛生学

教授 内藤 由紀子



東京薬科大学薬学部卒、博士（獣医学）。薬剤師。食品薬品安全センター・秦野研究所、国立循環器病研究センター勤務を経て、平成27年4月より公衆衛生学研究室講師。趣味は水泳、読書、旅行。美術館・博物館巡りも好き。

公衆衛生学研究室

教授就任のご挨拶

平成28年4月1日付で健康科学科公衆衛生学の教授を拝命いたしました。これまで、食品、医薬品等の毒性・薬理学試験・研究や、高血圧の病態解明の研究を行ってきました。生活習慣病に対する食用植物油や脂肪酸摂取の影響に関する研究を主要なテーマとし、秦野研究所在職中に、東京大学大学院で博士号（獣医学）を取得しました。北里大学での教育・研究に、これまでの研究経験を生かし、食の安全性確保、食による健康維持を専門とする人材の育成を目指しています。また、グローバル化の昨今、健康の維持増進と社会・環境との関連性を理解できる広い視野の重要性も伝えたいと考えております。よろしく願い申し上げます。

医療検査学科 血液学

教授 堀江 良一



出身：東京都
略歴：東京大学医学部医学科卒、医学博士。卒後、東大第一内科に入局。北里大学医学部血液内科を経て着任。趣味：クラシック音楽の鑑賞、園芸、ボウリング、熱帯性海水魚の観賞など。飛行機マニアです。

血液学研究室の

教授就任にあたり

平成28年4月1日より、医療検査学科血液学の教授を拝命いたしました。卒後、血液内科医を志し、臨床のみの生活を6年間過ごした後、東京大学医科学研究所にて分子生物学や病理学的手法を用いたがんの病態解析の研究を開始しました。この間、母校での診療にも従事して二つの仕事に励む生活を経験しました。平成11年からは北里大学医学部血液内科で臨床教育に携わる一方、北里大学での研究、東京大学医科学研究所との共同研究も行っておりました。臨床の現場で医学の限界を経験する中で、研究成果の臨床への還元の大切さを痛感しております。血液学研究室では教育や研究を通じた人材育成に力を注ぐ一方、課題としている難治がんに対する創薬を、北里大学の各部門との横の連携も駆使して推進していく所存です。何卒よろしく願いいたします。

臨床工学専攻 生体工学

教授 氏平 政伸



神奈川県出身。慶應義塾大学理工学部機械工学科卒、計測制御機器メーカーで人工透析装置開発に従事後、同大学院修了を経て現職、博士（工学）。趣味は、歩くこと、カメラいじり。スポーツは、昔はオリエンテーリング、少し前はスキー、今はテニスを少々。

生体工学の

櫂を受け継いで

「バナナの先生」こと馬淵清資名誉教授から櫂を受け、平成28年4月1日付で生体工学の教授に就任いたしました。ご縁で生体工学に入職し、気付くと勤続20年です。
生体工学では、機械工学分野から主に整形外科領域との医工連携の研究が行われてきました。私は機械屋の端くれとして、生体熱工学領域である生体組織や細胞の低温保存技術の研究に取り組んできました。これまで研究室で培われたノウハウを大切にこれからも一層医療の発展に貢献したいです。教育面では、昨今の厳しい社会状況に対応するため、微力ながら講義・実習・研究指導を通して思考力豊かな臨床工学技士の育成に尽くす所存です。
どうぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

リハビリテーション学科
視覚機能療法学専攻 視能検査学

教授 半田 知也



出身：広島県。略歴：川崎医療福祉大学卒業（視能訓練士国家資格取得）、北里大学大学院医療系研究科眼科学修了、博士（医学）。趣味：スキー、ドライブ、旅行。分野を問わず自分の楽しみに異分野の人を巻き込み、仕事に役立てて皆で面白がるのが何よりの喜びです。

視覚機能療法学専攻 の教授就任にあたり

平成28年4月1日より、視覚機能療法学専攻視能検査学の教授を拝命いたしました。これまでの主要研究テーマは両眼視矯正に関する研究です。両眼視機能をどのように評価し、両眼視の発達および矯正を行うか、両眼開放、両眼視機能、眼優位性（利き眼）をキーワードに研究しています。両眼視矯正の理論を用いて、視機能検査・訓練法および視覚トレーニングの構築に挑み、眼科医療への貢献を目指しています。
私は平成16年4月に助手として就任以来、現在に至るまで12年間、共に学ぶという信念の基、視覚機能療法学専攻の学部生の教育に努めて参りました。今後は、視能訓練士の指導者たる人材育成を目指して教育に努めたいと思います。何卒よろしくお願いいたします。



出身：福島県いわき市。略歴：国際医療福祉大学にて修士、福岡大学医科学研究科にて博士（医学）を修了。趣味：ダイビング、陶芸、旅行でその土地の美味しいものや地酒をいただくことが大好きです。最近お腹周りが大変なことに…

みなさん、はじめまして



北里大学同専攻の8期生として卒業し、臨床経験を積みながら博士（医学）を修了し、講師として戻って参りました。私が臨床・研究ともに大きく羽ばたけたのは、この学舎でたくさん仲間と素晴らしい先生方に出会ったためと確信しております。言語聴覚士の未来を担う学生たちにも、臨床・研究・学問のいずれにおいても患者さんに貢献できるような医療者になって欲しいと考えております。そのためにも専門である音声でのコミュニケーションと摂食・嚥下障害について、世に貢献できるような研究・臨床を行い、11年間の臨床経験を生かした講義を提供できるよう自らも研鑽してきたいと考えています。ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



東京都羽村市出身。東京農工大学を卒業後、米国留学を含む紆余曲折を経て現職。最近、料理をする必要に迫られた結果、醤油、みりん、砂糖、酒さえあれば何でも出来ると思い至る。初めて読んだ小説は「深夜特急」（沢木耕太郎）。

圧倒されることの喜び

平成28年4月1日付けで基礎医学部門 解剖・組織学の講師を拝命致しました。

ヒトのゲノムDNAは生命の設計図とも言われていますが、実は遺伝子としての領域は、たった2%のみです。他の98%は遺伝子が記録されていないため、長い間ガラクタ同然の扱いでした。近年、そのガラクタ領域こそが、ヒトをヒトたらしめているのでは？と考えられ注目を集めています。私は、ガラクタ領域に記録されている情報が、身体の成り立ちにどのような寄与しているのかを研究しております。

目覚ましい科学の進歩にも関わらず、底知れない自然の妙に圧倒される日々。生命科学の最前線の一步その先へ、北里大学の皆様と進めたいと思います。



東京都出身。総合研究大学院大学生理学専攻卒、博士（理学）。京都大学、東京理科大学勤務を経て着任。趣味は読書、旅行。子育てと仕事の両立に奮闘中。

着任のご挨拶

平成28年4月1日付で基礎医学部門 生理学の助教を拝命いたしました。これまで、昭和薬科大学、生理学研究所、京都大学、東京理科大学と様々な研究環境で研究してきましたが、一貫してパッチクランプ法を用いた生理学実験を続けてきました。生理現象をリアルタイムで観察できるパッチクランプ法を通して、学生の皆さんと一緒に脳科学研究に邁進したいと思っています。前職では薬剤師教育に携わっていましたが、まだまだ経験が浅く試行錯誤という面もあります。微力ながら北里大学医療衛生学部的发展に貢献させて頂けますよう、精進して参る所存でおります。皆さまからのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

お願い申し上げます。

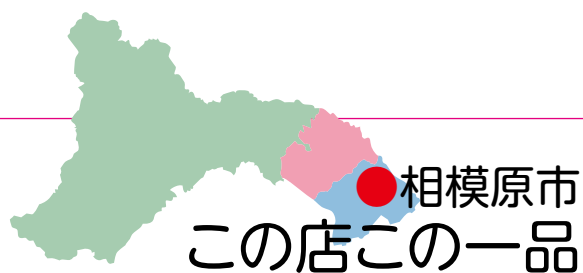


愛知県出身。鈴鹿医療科学技術大学を卒業後、北里大学病院・東病院放射線部勤務。愛猫家（アビシニアン、アメリカン・ショートヘア、ロシアンブルー）。我が家の3匹の娘たちと遊んで（遊んでもらって？）時が何よりの幸せです。

ごあいさつ

平成28年4月1日付で診療放射線技術科学専攻の助教として着任いたしました。北里大学は、私にとりまして非常になじみ深い大学であります。兄や従弟が卒業生であり、私自身も受験いたしました。大学は非常に悩み、母校を選択しましたが、就職は迷わず北里大学病院を希望。今年の3月まで大学病院および東病院放射線部で臨床業務に従事してまいりました。そして、医療衛生学部へ・・・。

教育者としてはもちろん、研究者としても半人前ですが、任期の3年間を医療衛生学部の教員として、学生たちと一緒に教育者としても研究者としても成長していきたいという日々精進したいと考えております。至らぬ点も多々あるかと思いますが、ご指導・ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。



●相模原市 この店この一品

医療検査学科 微生物学
助教 中村 正樹



店名：C'est la Saison! (セ・ラ・セゾン)
神奈川県相模原市中央区矢部 1-14-8
TEL.042-769-7355
品名：ロールケーキ

フルーツたっぷりロールケーキ!



トライフル

紅茶好きの私
にとって、美味
しいお菓子は欠
かせません。

今回紹介する
お店は、相模原
市中央区矢部に

あるケーキ店の「C'est la Saison! (セ・ラ・セゾン)」です。「C'est la Saison!」は「今が旬!」という意味のフランス語で、お店では旬のフルーツをふんだんに使ったケーキが並んでいます。一番のおすすめは「トライフル」。フルーツがたっぷり入ったロールケーキで、それを食べて以来私はリピーターになりました。ケーキの他にも焼き菓子やアイスクリームもありますよ。休日はセ・ラ・セゾンのケーキと美味しい紅茶で優雅なひと時はいかがですか?



ティティ先生のお国自慢!! ●ミャンマー編



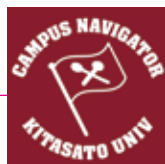
医療工学科
診療放射線技術科学専攻
臨床画像技術学
講師
THET THET LWIN

黄金に輝く仏塔に一度は来てみてください

先生の出身国はどこですか?と学生から聞かれることがあります。昔のビルマやアウンサン・スーチーさんの国、と言えば私と同年代の日本人はミャンマーの事とすぐ分ると思いますが、学生は「どこ? (笑)」と問い返してきます。ミャンマーは東南アジアの国の一つで、人口の約90%は仏教徒。とても信心深く、日常生活にも仏教の教えが深くかかわっています。ミャンマーには何万とも言われるパゴダ (仏塔) がありますが、私がお国自慢として思い浮かぶものは、2500年前に建てられたヤンゴンのシュダゴンパゴダです。お釈迦様の8本の髪をパゴダのなかに奉納していると言われています。仏塔の高さは100m、黄金のプレート8,688枚で装飾されています。基底部の周囲が433mあり、大小さまざまな仏塔と仏像が中心仏塔を取り囲んで林立しています。頂上の鳳凰の先端には、76カラットのダイヤモンドが埋め尽くされておりミャンマー人の信仰心の厚さを示しています。ミャンマーの人々にとっては、一生に一度はお祈りや礼拝のため訪れたい場所です。太陽に負けない金色の光で周囲を照らすかのようにして現れる想像を絶するほどの光の世界です。是非一度来てみてください。



● 学生生活紹介 北里キャンパスナビゲーター



医療検査学科
2年 山森 有紗



「北里大学の良さを知ってもらいたい」

北里キャンパスナビゲーターは北里大学の広報活動をしています。オープンキャンパスや進学相談会で、高校生や受験生の方に大学を紹介し、受験の不安・心配に対するアドバイスもします(写真1)。また、SNSや動画、雑誌「Hello! Kitasato!」を用いて、授業内容や部活動など、よりリアルな大学生活を紹介しています。

ここは「ナビルーム」と呼ばれている、私たちの部室(L2・1F 就職センター横)です(写真2)。雑誌や動画の制作、ミーティングが行われます。授業のないときや病院実習の休憩の合間に、ちょっと訪れたいくなるアットホームな空間です。



写真1

広大なキャンパスを案内し、高校生や受験生のひとりひとりに対応するのは大変ですが、丁寧に接するほど、北里大学のイメージが良くなり、北里に入りたいと思ってもらえることが私たちのやりがいです(写真3)。ちなみに私自身も、高1で初めて北里に来たときに、てきぱきと対応してくださったキャンナビの先輩に憧れて、受験し、入学しました。

たくさんの方に、自慢の北里の良さを知ってもらい、入学してもらえるよう、日々活動しています。



写真2



写真3

● お薦めしたい この1冊この1枚この1本



リハビリテーション学科
作業療法専攻
助教 田中 秀宜



著書名：赤めだか
著 者：立川談春
出版社：扶桑社文庫 306ページ

『医療衛生とは人間の業の肯定である』 ＝粋なエピソードと名言の宝庫



私は落語が好きなのですが、まだ実際に寄席に行ったことはなく、もっぱらyoutubeで視聴しています。古典落語、特に人情噺(にんじょうばなし)が好きで、文七元結、芝浜、幾代餅、子別れ…等々、何度も繰り返し聴いています。

「赤めだか」は、落語界の鬼才・立川談志師匠の弟子である立川談春の前座修行時代のお話です。談志師匠の言動に振り回され、悩み、成長して行く様が、師弟愛とともに面白おかしく綴られています。皆さんの中にも経験した人がいると思いますが、落語界と同様、医療・福祉の世界も上下関係や礼儀作法には大変厳しい世界です。修行時代のお話は共感できるかもしれません。

本文中には談志師匠の名言がいくつも出てきます。『落語とは人間の業の肯定である』、『決して落語だけを愛する観客達の趣味の対象になるんじゃないねえ』。『落語』の部分に「今の自分の仕事」に置き換えると、ハッとさせられる言葉が随所に並びます。自分が師匠の立場で読むのか、弟子の立場で読むのかでも、随分印象が違ってくるのではないのでしょうか。

今年は実際に寄席に行ってみようかと思っています。興味がある人はぜひ一緒に行きましょう！

落語館川流の教え 名言集

・そこらへんにいろ
・風になれ
・芸は教えられねえんだ
・すべての答えはグレーだ

医療衛生学部 事務室
主任
金子清佳



リハビリテーション学科
視覚機能療法専攻
教授 石川 均

ビールのお話し…ではありません。

ビールは大好きなのですが…。今回は、私の所有する数少ない本の中から1冊を紹介したいと思います。ヴィクトール・E・フランクルの「夜と霧」、心理学者のナチス強制収容所での体験記です。この中で、フランクルは、人が生きている意味を問うのではなく、生きることが各人に与えられた正しく答えること、それが生きることである、としています。生きる

意味というと大袈裟ではありますが、誰も一度は考えたことのある疑問ではないでしょうか。
生きていること(生かされていること)が、自分に何を求めているか、これは、人の命に係わることもかもしれません、間接的にでも人の生活を良くすること、もしくはもつと些細なことかもしれません。
人生は常に自分に何かを希望している、

この生きることに対する考え方の180度の方向転換は、私にとって大きな衝撃であり、以来、何度となく読み返す本となりました。気になった方がいらつしやいしたら、ぜひ手に取っていただければと思います。ヴィクトール・E・フランクル 著 池田香代子翻訳(2002)「夜と霧 新版」みすず書房



昨年の世界的话题の1つはラグビーワールドカップでの日本の躍進ではないでしょうか。日本でも未だに「五郎丸効果」はすごいものですね。さて、私は中学から高校、大学、そして現在も北里大学ラグビー部の部長としてラグビーに関わっている熱狂的なラグビーファンです。そのような中、実は昨年の9月に神様の贈物か、ラグビーの聖地「Twickenham」のまさに隣で、しかもワールドカップと同時期に学会が開催されました。かの有名なJapan vs South Africa戦はテレビ観戦でしたが、地元ファンも「Japan stun the world」と大健闘をたたえ、私も終始泣きながら見ていました(未だにVTRを見ると田中選手のように泣いています)。その後、日本戦が生で見たいと後ろ髪を引かれる思いでロンドンを後にしました。するとロンドンの従弟からJapan vs Samoa戦のチケットが取れたとの連絡が…。しかもそれは土曜日昼の試合。金曜日夜に羽田空港を出発し、その日のうちに現地に到着、翌日試合観戦、「出待ち！」後ヒースロー空港を出て日曜日午後には日本に到着していました。こうしてひと月のうち2回もロンドンに行き、ラグビー観戦をすることができました。大いなる感動が残ったとともに、多大な時差ボケ、疲労、貯金0円に見舞われたことは言うまでもありません。でもANAのダイヤモンド会員は残りました(笑)。

編集 後記

本号はトーマスジェファソン大学との合同国際チーム医療演習が1面を飾っています。言葉や文化が異なっている医療人として目指すものは1つだと思っています。是非若い方には多くの国の学生や研究者と意見を交わし、友情を育み、親睦を深め、狭い考えにとらわれずグローバルな世界を築いて頂きたいと思っています。最後にAHSの編集でお世話になりました。伊藤先生がご退職、また保田課長が異動されました。長きにわたりお世話になりました。皆様、新聞編集に興味はありませんか？新しい編集委員を募集しますが自薦大に歓迎です。遠慮なく委員にお声掛け下さい。

編集委員会

委員長 石川 均
委員 深瀬 裕子
黒崎 祥史
太田 悦朗
高橋 香代子
伊藤 美沙絵
川島 麗
保田 明夫
阿部 祥子
金子 清佳